

議会報告会意見と回答

テーマ2 新病院建設について

お寄せいただいたご意見		議会の考えと対応方針
今の位置に病院を残してほしい	・現在の病院施設を充実させて行き、新しい病院は必要ない。	<p>将来にわたって問題なく病院経営が行われることは誰もが望むことです。</p> <p>東濃地域において今後の人口減少と更なる高齢化が進む中において、医療提供体制の再編は避けて通れません。</p> <p>市民の皆様が将来にわたって持続的に適切な医療を受けられるようにするためには、限りある地域の医療資源を効率的かつ効果的に活用していく必要があります。</p> <p>1病院化という手法により医療資源の有効活用を果たすことで、多くの疾患に対応できるようになり、市民の皆様への安全・安心な医療提供体制の確保に大きな効果をもたらすと考えられます。</p> <p>また、東濃厚生病院は、現状のままでの病院存続は困難であり、地域に合った医療に対応するためには、東濃厚生病院と土岐市立総合病院の両病院が疲弊する前に、統合すべきという見解を述べております。</p> <p>両病院が疲弊し、東濃中部の医療提供体制が崩壊してしまう前に、1病院化を推進し、持続可能な地域医療体制を確保することが重要であると考えています。</p>
	・特に高齢者のためにも、瑞浪市としては現在のままで良いのではないかと思います。市民の一人として絶対に統合には反対です。	
	・新病院を中間地点にすることに反対します。統合については可もなく不可もなく。	
	・新病院建設大反対。今の厚生病院が良いです。	
	・新病院建設ありきで瑞浪市民の気持ちに寄り添ったものではないと思います。	
	・病院の数を減らして病院を充実させるのではなく、今ある病院をさらに充実させることが行政の仕事。	
・東濃厚生病院を今のまま残してください。近所の人もみな厚生病院にかかっています。色々な科にかかれるので、総合病院ではないとたいへん不便になります。		

市民への説明が不十分	・そもそも合併することを市民に聞いたのか？	議会としても情報公開が不十分と感じており、市民の意見の聞き取りも足りないと感じているため議会報告会のテーマとして取り扱わせていただきました。審議会の場でも、議員から市民への情報公開の場の提供を求めています。今後も情報公開や意見交換の場を求め市に要望していきます。
	・過去の経緯が良くわかりません。発端は国の指導による病院の再編等の関係でしょうか？	
	・岐阜県で只一つ院外処方にしなかった団結した病院が合併に良いことなしの話し合いに屈しなければならないのはお互いの方針だからか、患者は蚊帳の外か。	
	・2つの病院の統合は、市民にとってはおおきな問題です。もっと、おおきく取り上げて、事後報告でなく、市民にまず問いかけるべきだと思う。市議会の方も、誰ひとり、取り上げていない。もっと、重要議題にしてほしい。一番といっても良い問題だと思う。	
	・瑞浪に入院出来る病院が無くなる事が不安に思う市民が多い中、市民にわかりやすく説明してほしい。	
	・瑞浪市と土岐市の中間エリアに 新しい病院を設置し JA岐阜厚生連と言う、農協みたいな所が公設民営をする新情報も 新設備の投資や医師の研修先の価値を上げると言うたい文句のないいつもの意見は、具体性を持って提言と言った形で 周囲、周辺の住民に理解しやすく説明して欲しい。	
	・病院の合併や建設についても、市民の意向がおきざりにされ、いつのまにか決まってしまうと考えるし、土岐市の意向にあまりにもそっていると考える。長年の厚生連と市の関係もあつという間にパーになると思う。	
	・あえて、賛成、反対を述べるつもりはありませんが、特定の権益者（厚生連、土岐市）の意見が住民の考えとは離れたところで議論され物事が進んでいるような気がしてなりません。 勿論、各界の代表を入れるとは書かれているものの、仮に賛成の人ばかり（でないと思いますが）であれば市民の意見を代弁してもらえとも思えません。	
・新病院建設ありきで瑞浪市民の気持ちに寄り添ったものではないと思います。2025年が団塊の世代が75歳となる中で今まで政府の方針の社会的保障ひ削減の意向に沿ったもので、人口減少、医師不足、という理由で病院の統廃合は行政として人口減少に対するどんな努力がされてきたか？医師不足は、国の政策によって医師の定員を抑制してきた結果が今の状態です。新病院が出来たとしても医師を充足に保障する展望も見えない。そんなツケで市民に押し付けるのが問われています。唯一瑞浪市民が頼りにしてきた総合病院をなくすことは断固承服できない。審議会も公開での予定と新聞報道ですが市民の参加と発言する機会を作って頂きたい。		

<p>財政負担について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市が厚生連に金を出さないこともあり、土岐市内への新病院建設となったようですが、これでよいのでしょうか？ ・市内に重要な厚生病院です。高齢者の方々の通院が益々困難となり余計な費用も必要となります。税金のムダ使いで、旧病棟の解体、新病棟の建設費用、いったいどこから捻出するつもりですか！市民から徴収する税金を簡単に使わないで欲しい。 ・新病院建設大反対。今の厚生病院が良いです。お金はどこから持ってくるのですか。土岐市がもうすこししっかりして今の総合病院をきちんと」できるようにすべきです。 ・建設予算が膨大になると思われる中コロナ危機で市税も減収されることが予想され若い世代に借金を委ねる事に成り益々人口減少になる。 	<p>そのような経緯はありません。市から東濃厚生病院へは毎年度「公的救急病院運営補助」をしています。（6千万円）</p> <p>事業費がまだ定かではありませんが、過度の財政負担とならないよう議会として注視を続けていきます。市からは有利な起債の活用、国の補助金や交付税等を活用し、財政への影響を抑えた形で事業を進めていくことが説明されています。市（市民）の財政負担が増えないように、今後の会議でも監視してまいります。</p>
<p>人口流出が加速するのではないか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃厚生病院があることが市の売りであったと思いますが、市外に転出することで人口減がより進みませんか？ ・移住定住にとっては、総合病院の有無は決定的な差につながり、ますます寂れた町になる。ゴルフで定住したい日本2位は間違いなく転落。 ・交流人口の減少により市内での買い物等が減り（特に明智町（恵那病院へ）、駄知町）、市内での消費がさらに減り寂れた町になる。 ・そもそも総合病院があるから近くに移住した住民が数多くある中での失望は計り知れない。 ・恵那市、土岐市と比べて未来が見えない市となり若者は土岐や多治見に移住する可能性が高くなる。 ・総合病院をなくすことは若い世代が瑞浪市に見切りをつける事に成り人口減少にも拍車がかかり、街そのものがさびれることになる。 	<p>医療資源の集中化によって新たな診療科の設置が期待されています。市内に住む、またこれから住もうとされる若年層からのニーズが高いものの現病院には設置されていない出産ができる産婦人科、常勤医師を置いた小児科といった体制を促していくことなどで、今以上に医療面におけるPRに繋げられる可能性はあるものと考えています。</p>
<p>救急対応について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・距離が遠くなることで病院にかからない、病院に通えない、移動途中で病状が悪化する等のリスクにどう対処するか。 ・救急車の発動回数が大幅に増える。電源立地の交付金がなくなる中で、どのような対応（台数、人件費）をするかシュミレーションはできているか。 	<p>現状すでに両病院で対応できない緊急対応事案があります。この課題を新病院による医療体制の充実により、現在県立多治見病院や県外の病院にお願いしている事案についても迅速に対応できるようにし、地域内で完結する体制の構築が進むものと考えています。これにより市民の緊急対応の利便性については向上すると考えています。</p>
<p>今後の東濃厚生病院について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃厚生病院の今後の利用方法についてもっと知りたいです。 ・病院の跡地利用によっては住みにくい街になる。総合病院以上に市民にとって有益で集客力のある施設は考えられない。 ・統合後の病院の扱いも、考えてほしい。何らかの診療がおこなわれないかどうかです。 ・5年後の病院の行方は、活用の仕方に希望、診療所程度に、介護施設に。 	<p>今後の東濃厚生病院の活用については民間の所有する土地および施設であるため、J A 岐阜厚生連の判断となるものの、市としては診療所機能などを残してもらうようお願いしていく方針です。議会としてもそうした機能を残してもらうことは統合に際しては必須条件であると考えており、市と厚生連の交渉を注視してまいります。</p>

<p>医師確保の実効性について</p>	<p>・岐阜県は東濃地方の医療の確保に自ら当たる気はないので、（以前、岐阜県の幹部が東濃地方の病院の医師確保は県でなく名大にお願いしたいと名大病院長に話があったとのこと。）特に愛知県の大学病院との連携、医師派遣の要請を行っておかないと、「医師の安定的な供給」など絵に描いたもちになるおそれがあると思います。現に、東濃厚生は専門研修の名大、小牧市民の連携施設であった診療科で、来年度連携が解消されるようですが、大丈夫でしょうか？</p> <p>・結局、東濃厚生、土岐市立総合と一緒にしても医師の充足にはつながらず、医師を派遣してもらっている名大との関係も希薄化して医師が送られず、県が腰が引けているため岐阜大の医師も送られず、基幹病院としての役割は十分果たすことができず、今後、東濃西部、中部の医療はますます県立多治見病院に一極集中になっていくのではないのでしょうか。</p>	<p>東濃厚生病院を軸にセンター病院化し、幅広い診療科を設置することにより、研修医の確保や大学医局からの医師派遣が行われやすい病院となり、安定的な医師確保につながっていくものと考えています。</p> <p>他の病院統合事例を見ても統合により医師数が大幅に増え医師確保にきわめて大きな成果があったとの報告もあり、東濃中部地域医療の最大の課題である医師確保については統合は大きな効果を持つと考えています。</p>
<p>交通利便性について</p>	<p>・中間地点を基準に新病院建設とあるが、中間地点となれば、土岐市内となる。瑞浪市から遠くなるのは、必然である。あえて、土岐市の病院と合併する必要があるのか？瑞浪市民は、不便になる。合併するメリットも分かるが、利便性も考えてほしい。</p> <p>・車に乗らない高齢者にとって、非常に不便に成ると思います。</p> <p>・厚生病院を利用しているのは、瑞浪市民及び恵那市の武並、明智、山岡。土岐市民で利用されるのは、瑞浪に近い人だけで多治見寄りの人は多治見へ行くと思います。だから、中間地点は土岐の河合、肥田ではなく、現、厚生病院！だと思います。</p> <p>・新しい病院が土岐瑞浪の中間にできた場合、交通の便が悪くなる。例えば今でもそうですが、救急車で病院に運ばれ”ちりょう”がすんだ場合、夜中だと自宅へ帰る方法がない（タクシーもない）独居老人の場合、たのめる人もない場合朝まで入院といかなくても病院内にいる場所をかくほしてほしい。（自分の経験から）有料でも可 又はタクシーを手配できる様にしてほしい。</p> <p>・市内に重要な厚生病院です。高齢者の方々の通院が益々困難となり余計な費用も必要となります。</p> <p>・遠くなって不便である。病院に来られる患者の移動距離を計算すると、交通費、人件費（時給千円と換算して）で年間億単位の市民負担が発生</p>	<p>通院に係る新たな公共交通の確保は必須事項と考えています。</p> <p>また、現在実施されている直通バスや診療バスによる往診を継続するなどして、交通弱者にとっても利用しやすい病院になるよう意見していきます。</p>